ICTサポータの活用事例

学年	教科等	単元等	活用アプリ
小4	外国語	ケーキづくり	オクリンクプラス

授業内容

ケーキづくりを通して、欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ

準備：

・共有コードを使用してカードを取得する。
・準備したカード①～③を子供たちのマイボードに送信する（カード①フルーツカード。カード②注文カード、カード③ケーキづくりカード
・オクリンクプラスの授業の権限設定で、「カードの送り合い」を「可能」にする。（子供の「カードの送り合い」が可能になる）

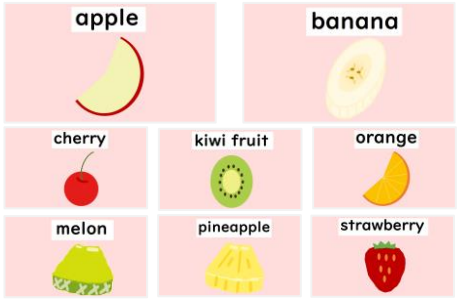
授業の流れ：

1. 全体で、マイボードに送られたカード①とカード②を使って、フルーツを表す英単語と英語での注文のやりとりについて読み方や発音を確認する。
2. ペアになり、店員役はカード②に沿って注文を聞く。客役はカード②を参考にしながら注文をする。注文されたフルーツの種類と個数は、マイボードの自分のカード②に記録しておく。
3. 店員役はカード③を開き、注文された通りのフルーツの画像をケーキに盛りつける。
4. 店員役から出来上がったカード③を客役に送る。客役は受け取ったカード③を自分が注文したケーキとして提出BOXに送る。
5. ペアの役割を交替して同様に実施する。
6. 提出BOXでどんなケーキができたかを全体で確認する。

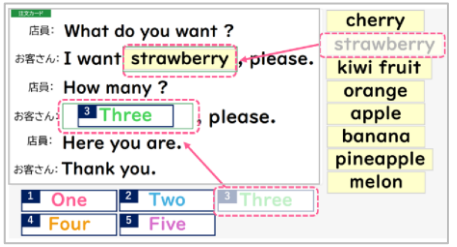
サポータおすすめポイント

- 画像を動かすシンプルな操作でケーキを作れるため、スムーズに授業を展開できます。また、必要な単語があらかじめ欄外にパーツとして用意されているので、注文の記録も手軽に残せます。
- ケーキ作りや注文した内容がカードで届く、という親しみやすい活動を通して、欲しいものを聞き取る力や相手に伝わる楽しさを体験します。

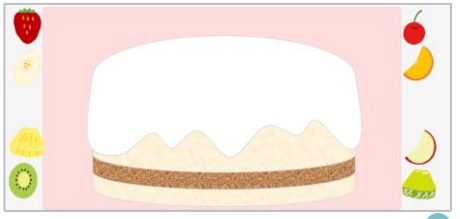
カード① フルーツカード



カード② 注文カード：取り組み例



カード③ケーキづくりカード



共有コード

共有コードを入力、またはカメラを起動して二次元コードを読み込む

pb01M5HBGRKMA865KFNK9G9AKVNM

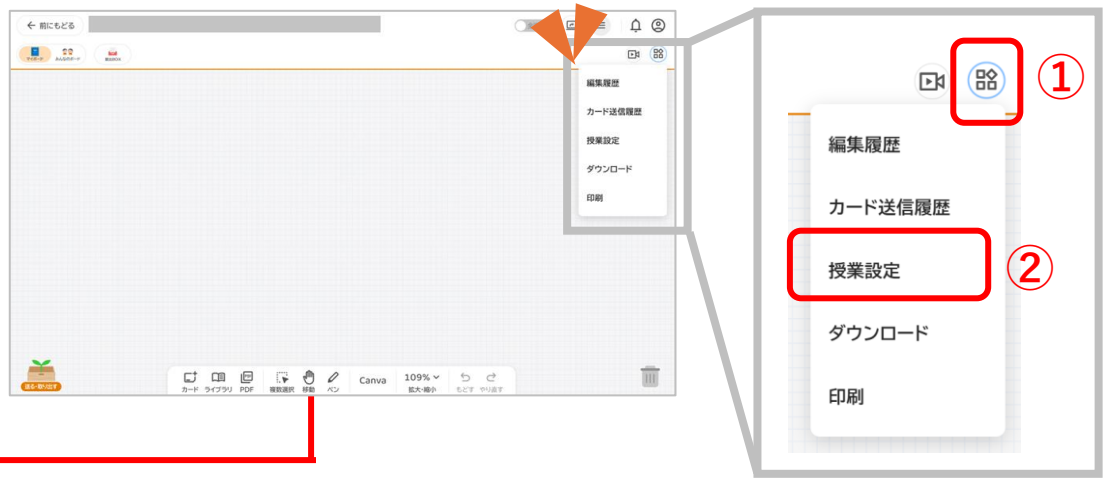
カードを送り合えるようにする設定

カードを送り合えるようにする設定は、授業制作時でも授業開始後でもどちらでも可能です。

「授業作成時」 は詳細設定から



「授業開始後」は　先生のマイボードやみんなのボードから設定



「権限設定」を選択



「カードの送り合い」を「可能」にする



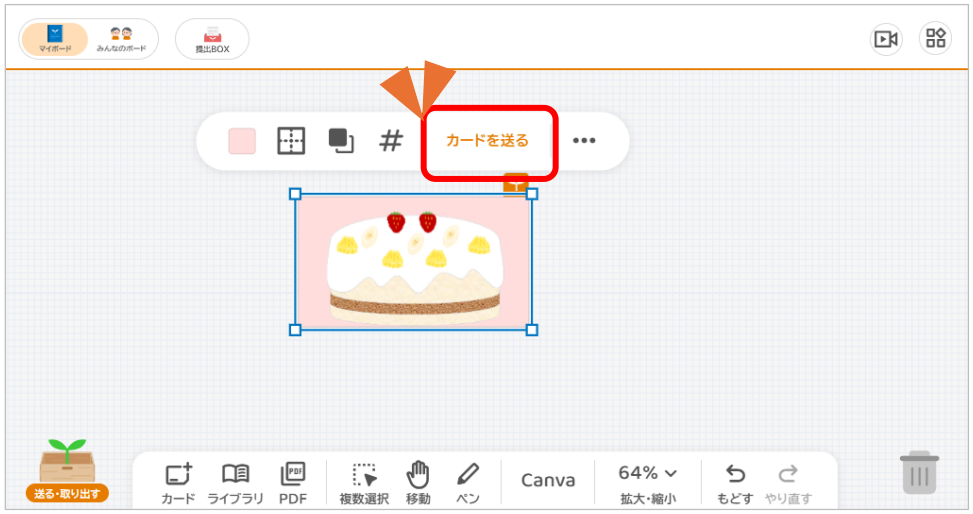
送り合いの取り組みが終わったら、「不可能」に戻すとよいでしょう。

送り合いの取り組みが難しそうな場合は、
客役がオクリンクプラスのカードにできあがったケーキの写真をとって取り込む、という方法もあります。

カードを送り合えるように設定すると

子供も先生と同様に他の子供にカードをおくることができます

①作成したカードをタップして「カードを送る」をタップします



②「みんなに送る」をタップします



③「みんな」をタップします



④クラスの▼をタップして展開し、送り先の出席番号にチェックを入れて「ここに送る」をタップします。

